

昭和59年4月号

1,550部発行

人 口		前月との増減
基本台帳人口	昭和59年3月1日現在	
男	2096人	△ 6人
女	2284人	5人
計	4380人	△ 1人
世帯数	1462戸	△ 5戸

昭和59年度 1,181,9

2. 歳出の状況

歳出の状況は第2表のとおりです。

まず義務的経費の中の人件費については、21,733冊（6.5％）の減となり扶助費については3,314冊（5.8％）の増、公債費についても14,599冊（8.3％）の増となり、義務的経費については若干の減となりますが、歳出全体の47.9％と高い構成比を示しています。

次に投資的経費は、9,973冊（23.1％）の減となり、歳出全体の構成比も27.8％と低くなっています。これは、公営住宅建設が完了したための減額となっています。

第2表

性質別歳出予算の状況

単位千円

区 分	昭和58年度				昭和59年度				増 減	対前年比
	予算額	特定財源	一般財源	構成比	予算額	特定財源	一般財源	構成比		
人 件 費	336,764	16,977	319,787	26.8	315,031	17,223	297,808	26.7	△21,733	0.94
物 件 費	116,075	21,621	94,454	9.2	125,170	26,370	98,800	10.6	9,095	1.08
維持補修費	16,740	2,100	14,640	1.3	14,990		14,990	1.3	△1,750	0.90
扶 助 費	57,313	46,572	10,741	4.6	60,627	49,152	11,475	5.1	3,314	1.06
補 助 費	106,693	13,910	92,783	8.5	118,184	18,139	100,045	10.0	11,491	1.11
公 債 費	175,215		175,215	13.9	189,814		189,814	16.1	14,599	1.08
普通建設事業	428,183	363,506	64,677	34.0	329,210	277,050	52,160	27.8	△98,973	0.77
補 助	279,431	252,919	26,512	22.2	141,054	129,850	11,204	11.9	△138,377	0.50
単 独	148,752	110,587	38,165	11.8	188,156	147,200	40,956	15.9	39,404	1.26
災害復旧事業	45	3	42	—	65	3	62	—	20	1.44
補 助	45	3	42	—	65	3	62	—	20	1.44
単 独										
投資及出資金	320		320	—	328		328	—	8	1.03
貸 付 金										
積 立 金	4,949	4,949		0.4	12,514		12,514	1.1	7,565	2.53
繰 出 金	11,100		11,100	0.9	11,000		11,000	0.9	△100	0.99
予 備 費	5,000		5,000	0.4	5,000		5,000	0.4	0	1.00
計	1,258,397	469,638	788,759	100.0	1,181,933	400,451	781,482	100.0	△76,464	0.94

一般会計予算 33,000円

昭和59年第2回田代町議会定例会は、3月12日招集され特別委員会の審議を経て3月27日最終本会議において議決されました。

昭和59年度当初予算編成については引き続き大幅な収支不均衡の状態にあり、歳出面において経常経費、投資的経費を通じ歳出の抑制を徹底して行い、限られた財源の重点的配分と節度ある財政運営を行うこととし、あわせて歳入面においては税収の大幅な自然増収は期待できない情勢にあり、また地方交付税も減少するなど地方財政が置かれている状況は一層厳しさを増しているなかで編成されました。

予算規模は1,181,933冊で、前年と比較して76,464冊（6.1％）の減となっています。

1. 歳入の状況

歳入の状況は第1表のとおりです。

市町村が自主的に収入できる自主財源は196,761冊で、16.6％と低く、国や県の意志決定により収入される依存財源は985,172冊で83.4％と高く、本町の歳入予算は国や県にたよる依存型予算となっています。又特定財源は、400,451冊33.9％、一般財源は781,482冊66.1％となっています。

第1表

歳入の状況

単位千円

区 分	予 算 額					特 定 財 源		一 般 財 源		自 主 財 源		依 存 財 源		対前年比
	58 年 度		59 年 度		増 減									
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	
町 税	107,510	8.6	113,015	9.6	5,505			113,015	9.6	113,015	9.6			1.05
地方譲与税	18,000	1.4	18,000	1.5	0			18,000	1.5			18,000	1.5	1.00
自動車取得税 交 付 金	8,000	0.6	8,000	0.7	0			8,000	0.7			8,000	0.7	1.00
地方交付税	601,446	47.8	611,240	51.7	9,794			611,240	51.7			611,240	51.7	1.02
交通安全対策 特別交付金	1	—	1	—	0			1	—			1	—	1.00
分担金及び 負 担 金	28,591	2.3	24,168	2.0	△4,423	24,168	2.0			24,168	2.0			0.85
使用料及び 手 数 料	11,348	0.9	14,799	1.2	3,451	14,799	1.2			14,799	1.2			1.30
国庫支出金	121,141	9.6	50,872	4.3	△70,269	50,872	4.3					50,872	4.3	0.42
県支出金	175,015	13.9	160,232	13.6	△14,783	160,232	13.6					160,232	13.6	0.92
財産収入	37,224	3.0	19,936	1.7	△17,288	13,304	1.2	6,632	0.5	19,936	1.7			0.54
寄付金	2,951	0.2	1	—	△2,950			1	—	1	—			皆減
繰入金	2	—	2	—	0			2	—	2	—			1.00
繰越金	20,000	1.6	20,000	1.7	0			20,000	1.7	20,000	1.7			1.00
諸収入	4,068	0.3	6,067	0.5	1,999	1,476	0.1	4,591	0.4	4,840	0.4	1,227	0.1	1.49
町 債	123,100	9.8	135,600	11.5	12,500	135,600	11.5					135,600	11.5	1.00
計	1,258,397	100.0	1,181,933	100.0	△76,464	400,451	33.9	281,482	66.1	196,761	16.6	985,172	83.4	0.94

からい

「黄さん、マークさん、

山中居、令人不老。
鶴髪童顔、童心確
最真。

中華民国七十二年三月二十六日
(昭和五十九年)
黄春秀 敬書於
川前徳夫様宅宿泊時



家族だんぐんで
「そば」のものと
だんごづくり

人々と交流を深め、田舎の生活
を体験した皆さんは、留学生
の皆さんはもちろん、私たち
田代町民にも本当にさわやか
で、楽しい思い出を残してく
れました。
短い期間でしたが、本当に

日本の「そば」おいしいけどつくる
のは大変のようです。



ガイジン同志の「なんこ」
気合を入れて仲々うまいものでした。
「ナンコ オモシロイ、ショウチュウオイシイネー!!」



チョット
ムズカシイネー
(舌を出しておどける
マイク)

も交流

マイクさんありがとう」

I will always remember
the warm hospitality of
the people of Tashiro.
Thank you.

Sincerely,

Miku Sato



「イラッシャイ」
鹿児島到着

子どもたちには
マークさんは
スターと同じ？
サインをもらってピース!!



子供たちと交流

交流
Karaimo Karyu

マーク ラビナ

3/23/84



「黄さんは何事にも熱心でした」

「初めてのお茶の仕事にも慣れた
手つきで取り組んでいました。」



「最後の挨拶」西森先生

西森先生は青少年育成活動から田代町の文化活動の充実等まで多方面にわたり、活躍していただきました。先生的情熱と功績を田代町民の財産として受けつぎ、これから田代町がますます発展するよう努めましょう。

「じねんじょ」奨励賞受賞

浪瀬さんの考案された「じねんじょ」は、発売以来大変な人気を呼び、鹿児島市内の大手デパート等に毎日発送されているということです。

田代町では現在、村づくり一村一品運動が実施されていますが、「じねんじょ」が田

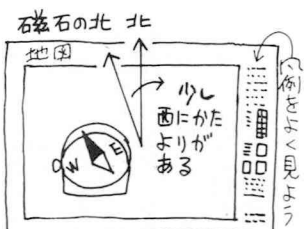


受賞の賞状とたてを手にされた浪瀬さん

代町を代表する名産品の一つになるよう、頑張っていたきたいと思います。

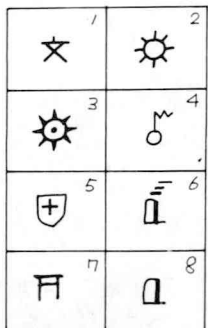
三年間にわたり、田代町の文化、体育の向上に貢献された教育委員会の西森先生が、春の教職員定期異動により鹿島村教育委員会へ転任されました。

親子で自然に親しもう
地図の見方をおぼえよう



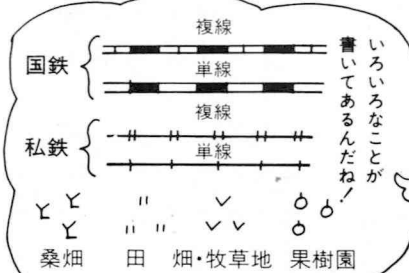
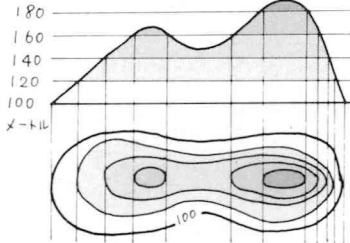
↑磁石の北と地図の北は少しずれています。

↓なんの記号だろう？



地図のきまり

- ①ちがめて作ってある。実際の大きさの5万分の1とか、2万5千分の1とかに注意しよう。
- ②地形図は上が北の方角になっている。現地で見る場合は方位に合わせてみよう。
- ③いろいろな記号と文字であらわしてある。
- ④高さは等高線であらわしてある。同じ高さの所を線で結んであるので、間かくのせまい所は急坂、広い所はゆるい坂だ。



記号によって山、川、林、町など土地の様子がよくわかるようになっています



地図はいろいろなきまりによって作られています。そのきまりを知って見ると、たくさんのことがわかってとても面白いものですよ。

田代町行政組織機構

町長 猪鹿倉 義則
助役 松田 進
収入役 中原 正美

＜町長事務局部＞

昭和59年4月1日現在

課	課長	係長	職員
総務課	中原 強一	庶務係長 上田 鉄朗 財政係長	南園 高樹, 名ヶ迫沢子, 川前 秀美 榎本 雄二, 富尾 俊一
企画管財課	竹之内哲哉	企画係長 柿迫 隆志 管財係長 西川 澄	宮原 賢志 川前 郁夫 (主査)
税務課	舞原 悦朗	賦課第一係長 賦課第二係長 松坂 征幸	山脇 幸夫, 安田 憲次 宮園 守
民生課	門前 正二	町民係長 山下 常男 厚生年金係長 鮎川 紀明 保険衛生係長 大中原ノリ子	宮下真理子 舞原 利博 平山 亮子, 表木 愛忠, 新井 真弓 (保健婦)
建設課	萩原 健一	管理係長 山元 利夫 工務係長 湊原 忠雄 水道係長 山元利夫(兼)	田中 弘朗 毛下 久男 (主査), 落司 孝文, 門前 四男 (補修員)
経済課	藤崎 重昭	農政係長 中村 光郎 指導係長 西野 正次	原沢 幸朗, 橋口 達郎, 西迫 秋美 大寺 和久, 上野 義明, 猪鹿倉勝志 若松 秋男 (主査)

＜収入役室＞

会 計 係 長		日高 公, 折小野まゆみ	
＜議会及び行政委員会事務局＞			
事 務 局	事務局長	係 長	職 員
議 会	古里 実		牛牧 芳江
教育委員会	教育長 池田 一雄	総 務 係 長	窪 和人, 林 直子
	課 長 田代 凱洋	社会教育主事 家村 秀則 〃 (併) 牧 悦朗	荒木 義文 湯ノ谷ひろ子(指導員)
農業委員会	上久保三郎	山下 敏郎	
監査委員会	古里 実(兼)		牛牧 芳江(兼)
選挙管理 委 員 会	書記長 中原強一(兼)	上田鉄朗(兼)	南園 高樹(兼), 榎本 雄二(兼), 富尾 俊一(兼)

＜施設＞

施設名	職員
老人福祉センター	所長 門前正二(兼), 鮎川紀明(兼), 川前ツタ子, 中園ノブ, 山口 弘 (運転手) 社会福祉協議会事務局長 有里 忠男
給食センター	所長 田代凱洋(兼), 小牧三郎 (主査), 金子ツマ, 小倉キクエ, 中野キミエ, 安田キヨ子
田代小学校	上吹越浅子
大原小学校	渡辺 久代
田代中学校	大中原和子
大原中学校	岩下 美幸

教育だより

新学年度を迎えて
教育委員長
川前 嘉秋

春光の光の下躍動する雰囲気の中に、五十九年度新学年度を迎えました。町民の皆様が教育によせられたご理解とご協力に對しまして、深く感謝申し上げます。町教育委員会は、教育行政基本方針のもとに、学校教育・社会教育の重点目標と方策を策定しました。学校教育においては、(一)ゆとりあるしかも充実した学校教育の創造、(二)すべての子どもに行き届く教育の推進、(三)教職員の資質指導力の高揚、(四)学校給食センターの充実があげられます。生涯教育の観点にたつた社会教育・社会体育の推進をはかり、活力に満ちた緑と心の豊かなふるさとを創造するよう努めたいものであります。時あたかも教育改革の必要性が叫ばれ、臨時教育審議会が設置されることになりました。教育は百年の大計と言われますので、慎重な対応が望まれます。町民の皆様も教育に対する関心をさら

昭和五十九年度を迎えて
教育長
池田 一雄

新年度を迎えてうるわしい教育風土の中で学校教育においては、特に(一)「郷土教育」郷土の伝統やよき風習を継承し、郷土にある教材の中から郷土の心を子どもに培って行きたい。(二)「一日一汗運動」一日一回は必ず汗を流し家庭や地域のために尽す心を養いたい。(三)「山坂達者」戸外で心とからだを鍛え、心身のたくましい子どもに育てたい。四「朝よみ夕よみ」町の中から、山の一軒家からも朝に夕に本を読む朗々とした声が町中に響き渡るようにありたい。又、社会教育では町民の要求に応える学級、講座等に開設を計画いたしておりますので、皆様方の忌たんのないご意見とご協力をお願いします。また、小組合活動の推進にも取り組んでいきたいと考えています。以上が本年度の努力点でございます。皆様方のご協力を切望いたします。

第34回町婦人大会開催



体験発表風景

町婦人会活動の一年間の総決算である第34回町婦人大会が、去る3月8日開催されました。

会務会計報告に続き体験発表が行われました。

長谷婦人会の活動の様子を油木田クニ子さんが発表されました。中でも農作業の「ユイ」の共同作業が大変喜ばれぬくもりに満ちた地域づくりの成果が印象的でした。

早瀬婦人会の迎志切京子さんは、九州地域婦人大会へ参加しての感想を発表され、盤山の基和世さんは「母に学ぶ」と題して婦人会長を引き受けてからの家族の励まし、特にお母さんの教えの有り難さを



本町有志指導者の指導による
レクダンス風景

レクリエーション教室終了

を話され、婦人会長として頑張ったことが自分の成長に役立ったと話されました。各地域婦人会長さん方本当に一年間ご苦労様でした。

レクリエーションとは、人と人の出会いを円滑にし好ましい人間関係をつくるのに役に立ちます。各種団体の会合、地域婦人会、子ども会、小組合等の催しの中で活用していけばぬくもりに満ちたあたたかい地域づくりができます。

このような意義あるレクリエーション活動を本町においてもさかんにしようとする1月より3月にかけて教室を実施しました。ゲーム、ダンス、ソング、スポーツといういろいろ



楽しく歌おうソング

第6回大原地区バレーボール

第6回大会が去る3月8日夜開催されました。

今回は例年になく参加チームが少なくさびしい大会でしたが、バレーボール教室後の大会で技術的には見応えのある試合が数多く見られました。

- 八試合の結果
- | | |
|-----|------|
| 優勝 | 盤山 B |
| 準優勝 | 大原住宅 |
| 三位 | 盤山 A |
| 四位 | 東大原 |

役場人事異動のお知らせ

昭和五十九年四月一日付をもって、役場の人事異動がありましたのでお知らせします。(一)内は元所属課並びに係名です。

税務課長 舞原悦朗(財政係長)
企画管財課長 竹之内哲哉(経済課長)
経済課長 藤崎重昭(農委事務局長)
農委事務局 上久保三郎(税務課長)
民生課保険衛生係長 大中原ノリ子(議事事務局)
農委事務局 山下敏郎(保険衛生係長)

健康だより

減塩と正しい食生活

脳卒中やガン等の成人病予防上、食塩の量は一日10g以下が望ましいと厚生省からも提唱されており、過去の様な塩辛い味は今後の人生にマイナスイメージが及ぶと考えられています。しかし、まだ減塩について誤解が多く、その第一

は、「うす味にすると、まずくなる」と思い込んでいる点です。又塩味の強い物が食べられなくなる、さらに減塩すると高血圧が治ると考えている人も多くみられます。減塩をする際に最も注意しなければならぬ事は、「食べてはいけない」と言うところをえ方を避け、今迄が使い過ぎでいた、摂り過ぎていたと思ひ直す事です。制限としてではなく、どのようにしたら上手に調味料が使用できるか、「おいしく食べられるか」を考え、きちんと定められた範囲で計算して使えば、おいしく味わう事が出来ます。減塩でもおいしい食生活のコツは、第一に食塩量の多い食品に注意する。食塩の多い物は第一に漬物類で、次いで汁物・めん類・佃煮。加工品の順ですが、これらを摂取しないだけで、一日10g以内でおいしく食べられます。一日1gのおかずを用意すれば一回に三品が食べられ栄養上の問題もなくなります。ちょうどよい塩味と言うのは約1%の材料で1%の塩分と言われています。どうしても塩辛い物が欲しい時は、量を減らし、五日間に一回位にします。第二には、「生の食

品素材」を主にメニュー設定します。缶詰やびん詰め・真空パックや加工食品は少し多めの塩味になっていきます。例えば六枚切りの食パン一枚に0.7%の食塩が含まれています。案外気づかない物(加工食品で余分の塩をとり味付けを制限するのは得策ではありません。又以外に塩の多い物にめん類があります。一週間のどこでめん類にするか考え、めんのスープは吸わないこと、その他には食卓にある調味料は使わない。酒の肴となる物は、ほとんどが塩辛いのでうす味の物を選びます。減塩の食生活は言葉をかえれば「正しい食生活」をすると言うことです。一日10gを朝3g、昼3g、夕4gと割りあてバランスのとれた食事をすることです。減塩された調味料(しょうゆやソース)の利用でも楽しさをカバーします。加工食品の利用率が高まって来ている現在、減塩対策は一人だけの心掛けではどうにもならない面もあります。子供から大人、老人迄も含め、家族中で取り組んで欲しいものです。手作りの作物で、手作りの料理を、皆でおいしくいただく家庭に不安なし。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

転 出

新 任 校	職 名	氏 名	旧 任 校	本町在職年数
三島村教育委員会	派遣社会教育主事	濱蘭 博臣	田代小	7
亀山小	教諭	船間 一洋	"	3
大成小	"	南 玲子	"	3
退職	養 教	永吉 雅子	"	1
"	校 長	中村 睦郎	大原小	5
秋徳小中	教 頭	田畑 宮郷	"	5
国分南小	教諭	小園清一郎	"	3
退職	校 長	上敷領静雄	田代中	3
串良中	教諭	松元 功	"	7
波野中	"	志村 和明	"	7
退職	校 長	加治屋 休	大原中	3
国分中	教諭	野崎みゆき	"	3
退職	"	篠田 哲秀	"	1
"	事務職員	慶田 信一	"	1
鹿島村教育委員会	派遣社会教育主事	西森 廣幸	田代教委	3
宮之城高校	教諭	稲次由美子	田代分校	2

(お世話になりました。)

転 入

新 任 校	職 名	氏 名	旧任校
田代小	教諭	西 哲也	中郡小
"	"	斉勝 達郎	新 採
"	"	横山志津保	山川小
"	養 教	橋野 弘美	期限付
大原小	校 長	日高 純蔵	名山小
"	教諭	鶴田 順子	宮脇小
田代中	校 長	入佐 郁	笠沙中
"	教諭	生田 周一	新 採
大原中	校 長	増満 一郎	大口小
"	教諭	関 慶子	甲東中
"	"	平部 義人	新 採
"	事務職員	八木 達己	鶴峰小
田代町教委	派遣社会教育主事	牧 悦朗	栗野町教委

(よろしくおねがいします。)

第6回サンライフファミリーゲートボール大会開催

3/11

(結果は次表の通り
(一回戦は省略しました))

また、今回は家族ぐるみの参加が増え、たいへん和やかな大会となりました。親子孫三代にわたって交流を深め楽しい一日となりました。来年の大会へは、もっとたくさんのファミリー参加が増えることを祈念いたします。

コミュニティーの部
優勝 東ノ原小組合



ファミリーの部
優勝 福山ファミリー



タッチをねらって!

——ファミリーの部——

福山ファミリー				
15		9		
42	37	29	25	
福山	宮園	田原	鶴田	

——コミュニティーの部——

東ノ原				
13		26		
16	35	18	13	
上柴立	平石	東ノ原	橋ノ口	

スポーツ傷害保険加入について
本町でも年々スポーツ活動がさかんになってきています。ソフト、バレーボール、卓球、テニス、ゲートボール等各種の大会が数多く実施されています。このように参加の機会が拡大するにつれて、スポーツに伴うケガも多くなってきました。万一の備えとしてスポーツ傷害保険に加入しましょう。問い合わせは町教育委員会へお願いします。